

日本毒性学会付加体科学部会 主催
付加体科学部会 第2回シンポジウム

寄付金・広告募集趣意書

実行委員長 伊藤 昭博

1. 会議の名称: 付加体科学部会第2回シンポジウム
2. 主催機関: 日本毒性学会 付加体科学部会
3. 代表責任者: 実行委員長 伊藤 昭博 (東京薬科大学 教授)
4. 会期: 2024年10月25日(金)～26日(土)
5. 場所: 国立研究開発法人理化学研究所 和光キャンパス 鈴木梅太郎記念ホール
〒351-0198 埼玉県和光市広沢 2-1
6. 参加予定数: 約100名
(内訳: 大学 70%、国公立研究所 20%、他 10%程度
職員・社会人研究者 75%、学生 25%程度)
7. ホームページ: https://www.senkyo.co.jp/adduct/2nd_tokyo/

8. 開催趣旨:

日本毒性学会は化学物質の生体内分子への結合とその作用に関する研究を統合的に発展させる場として2022年に付加体科学部会を設立し、毎年、シンポジウムを開催することとなった。

一卵性双生児を用いた研究により、ゲノムDNAの情報よりも環境因子がヒトの健康や疾患の発症に大きな影響を与えることが示唆されている。しかし、我々を取り巻く環境中には膨大な数の化学物質が存在し、意図的あるいは非意図的にこれらを体内に取り込まれているが、どの環境化学物質がどのようなメカニズムで影響を与えているのかを統合的に解析した例はほとんどない。生命活動を担うタンパク質の機能は、ゲノムDNA中の塩基配列により決まる一方で、多くのタンパク質は翻訳後に起こる様々な化学修飾によりその機能が調節されている。これらの化学修飾は、生体内に存在する化学物質がタンパク質と「付加体」を形成することにより起こる。したがって、内在性の化学物質と同様に、体内に取り込まれた環境化学物質がタンパク質などの生体内高分子と「付加体」を形成し、その機能を変化させることが、環境化学物質の作用メカニズムである可能性がある。実際に、ベンゾピレンなどの親電子代謝物は、生体内分子と共有結合形成(付加体形成)を介して毒性を発揮することが知られている。

このように異物や生体内物質によるタンパク質の付加体形成に興味を抱く研究者が増加したことから、毒性学を理解しながら研究領域を超えて新たな学問分野を創生し、成果を議論する場が必要であると考えた。そこで、産官学の毒性学会会員らと協議し、毒性学会および他学会の研究者がタンパク質などとの付加体形成で生じ

る細胞内レドックスシグナル系の変動やエピジェネティクスなどの生体内変化，それに起因する疾患発症に関する研究成果を公表し，情報交換する機会を構築することを目的として，付加体科学部会第2回シンポジウムを開催することとなった。

9. 会議の概要：

特別講演 1, 教育講演 1, シンポジウム 2, 一般口頭発表 (演題申込数が多数の場合、一般ポスター発表を実施), 常任幹事会・幹事会を開催. 部会賞・奨励賞は今年度に設ける予定のため、本シンポジウムにおいて部会賞・奨励賞講演は実施しない。

10. 部会役員：

部会長 上原 孝
 常任幹事 伊藤 昭博、安西 尚彦、西田 基宏、田口 恵子、高橋 祐次、
 諫田 泰成
 監事 長谷川 潤、佐能 正剛
 アドバイザー 熊谷 嘉人

11. 募金趣旨(寄付または広告を必要とする理由)：

私たちは生活を介して、多くの化学物質を摂取し、それらを利用している。その一部は体内において、直接あるいは代謝を経て間接的にタンパク質などに結合して、付加体形成を介して何らかの生体反応を惹起する。しかしながら、それらがどのように働くのか、その功罪については不明な点が多い。現在、このような親電子性を有した化学物質などの付加体形成機構、基質タンパク質同定、生体内反応、健康維持、疾患発症などとの関わりを解明することが求められている。そこでこれらの研究に携わる研究者間の交流と情報交換を推進するためには付加体科学研究の権威が集って質の高い討論を繰り広げる本研究会をより充実したものにすることが不可欠であり、寄付および広告をお願いする次第である。

12. 収支予算書

【収入の部】

(単位:円)

科目		予算額		備考
事業収入				
	事前参加登録料	400,000		
	一般 (40 名×10,000 円)		400,000	
	学生 (30 名×無料)		0	
	当日参加登録料	110,000		
	一般 (10 名×11,000 円)		110,000	
	学生 (10 名×無料)		0	
	広告掲載料・寄付金	100,000		
	日本毒性学会からの開催援助金	300,000		
収入予算額合計		910,000		

【支出の部】

(単位:円)

科目		予算額		備考
運営費		362,000		
	事務費		300,000	
	消耗品費			100,000
	通信費			100,000
	印刷費			100,000
	講演要旨集(PDF)		62,000	
当日運営費		120,000		
	講演会開催費		120,000	
	会場費			0
	設営・運営費			120,000
	講師招待費		0	
雑費		50,000		
部会運営費への繰入		378,000		
支出予算額合計		910,000		

13. 事務局: 〒192-0392 東京都八王子市堀之内 1432-1
 東京薬科大学 生命科学部 細胞情報科学研究室
 「付加体科学部会第2回シンポジウム」事務局
 TEL 042-676-6905
 FAX 042-676-7008
 E-mail: aito@toyaku.ac.jp

付加体科学部会第2回シンポジウム 寄付金募集要領

1. 寄付の募集

「付加体科学部会第2回シンポジウム」の趣旨を御理解いただき寄付金によるご支援をお願いします。

2. 寄付の申込方法

寄付金申込書に必要事項をご記入の上、事務局に電子メールでお送り下さい。

「付加体科学部会第2回シンポジウム」事務局

E-mail: secretariat_adduct@senkyo.co.jp

3. ご寄付は、1口 10,000 円より受付いたします。

4. 寄付金の振込先

銀行名(コード): 中国銀行 (0168)

支店名(コード): 津島支店 (123)

口座番号: 普通 2569161

加入者名: 日本毒性学会付加体科学部会 部会長 上原 孝

(ニホンドクセイガツカイフカタイカガクブカイ ブカイチヨウ ウエハラタカシ)

5. 寄付申込締切

2024年10月14日(月)

6. ご寄付いただいた企業・団体の名称を要旨集(PDF)に明記いたします。

7. 50,000円以上のご寄付をいただいた場合には、本研究会の参加証を2名分進呈させていただきます。

付加体科学部会第2回シンポジウム 広告募集要領

1. 広告の募集 「付加体科学部会第2回シンポジウム」の趣旨をご理解いただき要旨集(PDF)またはホームページへの広告掲載をお願いします。

2. 募集要項

【「付加体科学部会第2回シンポジウム」要旨集(PDF) 広告】

◆概要

- ・ 発行形態 PDFファイル
- ・ 配布対象者 付加体科学部会第2回シンポジウム参加者

◆広告掲載料

要旨集(PDF)	A4版 白黒/カラー	1ページ(タテ)	20,000円
	A4版 白黒/カラー	半ページ(ヨコ)	10,000円

【ホームページ バナー広告】

◆概要

- ・ 広告媒体名 「付加体科学部会第2回シンポジウム」ホームページ
- ・ URL https://www.senkyo.co.jp/adduct/2nd_tokyo/
- ・ 広告方法 バナー画面のローテーション表示及び指定URLへのリンク

◆バナー広告掲載料

ホームページ	バナー広告 1口	5,000円
--------	----------	--------

3. 広告の申込方法

広告申込書に必要事項をご記入の上、事務局に電子メールでお送りください。

付加体科学部会第2回シンポジウム事務局

E-mail:secretariat_adduct@senkyo.co.jp

4. 申込締切 2024年10月7日(月)

5. 広告原稿締切 2024年10月7日(月)

6. 広告掲載料の振込先

銀行名(コード): 中国銀行 (0168)

支店名(コード): 津島支店 (123)

口座番号: 普通 2569161

加入者名: 日本毒性学会付加体科学部会 部会長 上原 孝

(ニホンドクセイガツカイフカタイカガクブカイ ブカイチヨウ ウエハラタカシ)